

—総括表—

◆ 事業計画

□ 地域の現状と今後の方向性

不老町地域ケアプラザの担当圏域は5つの連合町内会を単位とした地区に寿地区と非常に広域となっており、人口(2020年9月)は約50,807人で、そのうち0歳～14歳は、約7%、15歳～64歳は70%、65歳以上(高齢化率)は、23%となっています。地区別にみると各地区の特徴が窺えます。

石川打越地区

住宅地、商業地として発展してきた地区で、親しみやすい下町風情が感じられます。古くから住んでいる住民が多いこともあり、地域の結びつきが強く、町内会と商店会が協力し地域活動が活発に行われています。また急な勾配の坂が多いこともまちの特徴となっています。

地域サロンでは活動場所を拡大し、参加者を分散するなど感染対策を徹底しながら活動の継続を実現するなど住民活動が活発です。スイーツ会や健康給食会などの活動をはじめ、お祭りや行事が盛んなことも特徴です。

埋地地区

今から約350年前の干拓事業により埋め立てられた地であることが、名前の由来になっています。集合住宅と商業系ビルが立ち並び、交通の便は良く平地で暮らしやすいまちです。近年、町の再開発が活発で、町の新たな魅力が醸成されようとしています。また外国人の数は3,647人と区内で一番多くなっています。地域活動も「歩け歩け大会」や「埋地さろん」等が継続され、時代のニーズに応じた取り組みが行われています。

第一北部地区

野毛山の裾野と大岡川に沿った地域で、赤門町から桜木町駅までの細長い地区です。古くからの商店街があり、人情味ある下町と新しい街並みが融合しているほか、野毛大道芸などのイベントが活発で活気にあふれています。地区の活動は活発で、町の安全パトロールや地区センターを活用した高齢者給食会など世代の垣根を超えた交流が盛んに行われています。

第一中部地区

横浜開港から港に続く散歩道として親しまれる商店街を中心に、様々なイベント等で、町は活気にあふれています。外国人が多く暮らしており、国際色豊かな一面もあります。単身世帯が総世帯の7割を占め、単身世帯総数は、中区で一番多くなっています。地域の活動では、担い手の世代交代が進み、これまでの伝統行事に鑑みながら、新しい形での取り組みも検討されています。

関内地区

横浜開港からの歴史ある街並みが魅力で観光スポットも点在します。官公庁街やオフィス街がある一方で、近年高層マンションが建築され、住民が増えています。高齢者の割合は17.1%と区内では一番少なくなっています。また、出生時から住んでいる住民の割合は少なく他の地域から流入してきた住民がほとんどです。住民の多くはマンション、集合住宅に居住しているほか、今後も新たな集合住宅の建設が予定されており、人口、世帯数とも増加傾向が続くと思われます。コロナ禍においても地区の活動は活発で、町の清掃活動やサロンなど、できる限り継続実施されています。

寿地区

寿町を含む約0.06km²の範囲に120軒以上の簡易宿泊所が密集している地域で、約5,700人が宿泊しています。高度経済成長期には労働者達の街で賑わいましたが、住民の高齢化とともに、福祉ニーズの高いまちへと変容し、高齢化率は50%を超えるなど類を見ない高齢化が進んでいます。地域の活動は自治会や地区内の団体が積極的に活動されており、コロナ禍ではありますが住民支援が継続されています。

今後の方向性

各地区ではコロナ禍においても工夫を凝らした活動が活発に行われるなど、住民が主体となった地域づくりがより一層進んでいます。一方、地域を支える担い手の不足をはじめ、子どもの減少、ゆるやかな高齢化、外国人の増加による生活マナーへの理解など、課題も多くあげられています。こうした地域の実情を踏まえ、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を実現するためには、子ども、働き世代、高齢者までの全ての世代だけではなく、障害者や外国籍の方も含めた地域への相互理解が必要になります。これらを実現するため、各地区の特徴をしっかりと把握・分析し受け止めたうえで、地域ケアプラザとして取り組みを加速させていきます。

今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地区連合町内会議や民児協等の集まりに参加し、幅広い対象者の施設であることや、出張相談ができることなど、地域ケアプラザの機能について定期的に説明をしていきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	「食を通じた地域支援」を目的とする繋がりの中で、障害当事者がこども食堂(フードパントリー)に参加する機会を継続し、ケアプラザとの関係を深めるだけでなく、地域との繋がりを広げていきます。また「味噌づくり」を通して国籍を超えた住民同士の交流機会を創出していくほか、障害理解の啓発にも取り組みます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域のコアメンバーと協働し、地域住民に福祉・保健活動に興味関心を持ってもらえるような取り組みや活動を検討していきます。ケアプラザの事業だけでなく、地域情報についての発信も行い、社会資源の開発に繋げていきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域活動へ参加し、認知症普及啓発の必要性を地域住民と共有します。引き続き定期的に不老町エリアのキャラバンメイト連絡会を開催します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	中区内の包括主任ケアマネジャーが協力し新任ケアマネジャー実習を開催する。適切なケアマネジメントの実践についての知識の習得や情報収集の機会を提供していきます。ケアマネサロンや居宅連絡会等の場を活用し、インフォーマルを含めた情報の発信や、6包括共同で研修を企画しケアマネジメントの充実を図ります。利用者支援にあたり効果的な支援に繋ぐ可能性があれば適宜、連絡調整や同行訪問をおこない民生委員とケアマネジャーとの橋渡し役を担います。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症のまん延や収束を繰り返しながら、withコロナに向け工夫した取り組みが加速した1年でした。

各地区の活動は徐々に再開され、町内会や民児協などの会議に参加させていただいたことにより、地域ケアプラザの機能周知を行うことができました。

「食を通じた支援」では、地域の障害作業所と協働し、こども食堂(フードパントリー)を開催したことで、住民と障害当事者のつながりができ、障害理解の啓発をすることができました。

また、地域で活躍する担い手の協力により「ミニ夏祭り」や「ケアプラザ祭り」などの企画を実現し、福祉・保健活動の普及啓発に取り組みました。

認知症を一人でも多くの方に知っていただくため「認知症サポーター養成講座」を開催し、住民向けに各地区の会館に出向したほか、地元企業のニーズに応え職員むけの講座を複数回開催することができました。

福祉専門職への支援として、中区地域で活躍する新任ケアマネジャーの支援を目的に、ケアマネジメントの実践研修を区内包括で協働し開催しました。専門職の専門性を向上しより良い支援につながるよう、新任ケアマネジャーが抱えるニーズに経験豊富な職員が寄り添うことにより、住民への効果的な支援につながるよう努めました。

区からのコメント

圏域に多くの地区が含まれていますが、地域の現況をよく把握し、複雑かつ多様な課題に取り組んでいます。

紙媒体の使い分けやSNSの活用、多言語での広報など、情報発信にも工夫が見られます。

地域とのミニ夏祭りやケアプラザ祭りを開催するなど、地域のつながりの継続に努めています。

今後も地域活動の担い手の発掘・支援や多文化共生の取組を進めてください。

令和4年度 不老町 地域ケアプラザ事業計画書・事業報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	公設の施設として、相談者の意思を尊重し、住民・地域団体・事業者に対し、公正・中立な立場で業務にあたる。事業者の選定等にあたっては、一覧表などの資料を活用しながら複数の選択肢があることを提示し、適切な支援・情報提供に取り組む。	個人情報保護やあらゆる事故に対する危機意識を常にもって業務に取り組む。重大な事故に至ってしまう可能性がある事案や一歩手前の事例に対し、ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有し、業務改善に努める。
実績	個別相談をはじめ、あらゆる相談に対し、公正・中立な立場で業務に取り組みました。事業者の選定などにあたっては、公に配布されている資料やHPなどの媒体を活用し、適切な支援・情報提供に取り組みました。	個人情報や事故防止の研修を実施し、正しい知識と理解を共有することで、常に危機意識をもって業務に取り組みました。また、事故には至らなかった事案についても、ヒヤリハット報告書を共有し、業務改善に取り組みました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	住み慣れた地域で自分らしい生活ができるよう計画を作成し適切なサービス・資源に繋げる。	「自立」を基本に計画を作成し、公的サービスをはじめ、地域資源を活用した支援に取り組む。
職員体制	管理者 1名 包括兼務職員6名	管理者 1名 介護支援専門員 3名
利用者実績(人)	4,997人	732人
	4月 5月 6月 7月 8月 9月	4月 5月 6月 7月 8月 9月
	419 419 414 415 412 418	53 55 57 60 61 61
	10月 11月 12月 1月 2月 3月	10月 11月 12月 1月 2月 3月
	420 416 422 417 417 408	64 62 62 65 65 67

3 通所系サービス事業

	通所介護 認知症対応型通所介護	第1号通所事業 介護予防認知症対応型通所介護
目標	利用者の意向を尊重し、安全・安心のサービスに努め、その人らしい「自立」を支援する。	介護予防を中心に、安全・安心なサービス提供に努め、その人らしい「自立」を支援する。
実施体制	【実施日数】 週7日(年末年始除く) 【提供時間】 午前9時30分～午後4時30分 【定員】 35人	【実施日数】 週7日(年末年始除く) 【提供時間】 午前9時30分～午後4時30分 【定員】 35人
実費負担	食材料費 750円	食材料費 750円
職員体制	管理者 1名 相談員 3名 介護職員 10名 看護職員兼機能訓練指導員 6名	管理者 1名 相談員 3名 介護職員 10名 看護職員兼機能訓練指導員 6名
利用者実績(人)	8,349人(年間延べ利用者数)	11人(令和5年3月末時点契約数)
	4月 5月 6月 7月 8月 9月	4月 5月 6月 7月 8月 9月
	730 733 713 751 739 746	85 72 63 58 64 67
	10月 11月 12月 1月 2月 3月	10月 11月 12月 1月 2月 3月
	680 696 631 611 634 685	58 78 72 84 94 92

令和4年度「横浜市不老町地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,705,857	1,345,290	21,051,147	18,621,147	2,430,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	21,300	△ 21,300	
横浜市による運営支援			0	483,000	△ 483,000	物価高騰に係る支援金
横浜市による運営支援(追加分)			0		0	
横浜市による運営支援(その他)			0		0	
雑入	0	0	0	8,400	△ 8,400	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	8,400	△ 8,400	自販機目的外使用料
その他	△ 2,430,000		△ 2,430,000	0	△ 2,430,000	施設使用料・利用料金の活用
収入合計	17,275,857	1,345,290	18,621,147	19,133,847	△ 512,700	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,256,000	0	12,256,000	12,169,699	86,301	
本俸	8,547,000		8,547,000	8,345,590	201,410	
社会保険料	1,132,000		1,132,000	1,209,059	△ 77,059	
手当計	2,391,000		2,391,000	2,445,306	△ 54,306	
健康診断費	22,000		22,000	13,880	8,120	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	120,000		120,000	127,863	△ 7,863	
その他	44,000		44,000	28,001	15,999	
事務費	1,275,000	0	1,275,000	1,463,924	△ 188,924	
旅費	3,000		3,000	3,344	△ 344	
消耗品費	655,000		655,000	667,767	△ 12,767	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	0		0	0	0	
通信費	118,000		118,000	241,115	△ 123,115	
使用料及び賃借料	0	0	0	8,400	△ 8,400	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	8,400	△ 8,400	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	9,000		9,000	10,201	△ 1,201	
職員等研修費	5,000		5,000	5,676	△ 676	研修費・研修に伴う交通費
振込手数料	80,000		80,000	4,345	75,655	
リース料	52,000		52,000	0	52,000	
手数料	2,000		2,000	141,350	△ 139,350	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	351,000		351,000	381,726	△ 30,726	
事業費	200,000	0	200,000	419,400	△ 219,400	
運営協議会経費	10,000		10,000	0	10,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	190,000		190,000	199,400	△ 9,400	
その他	0		0	220,000	△ 220,000	ICT整備費
管理費	2,940,000	0	2,940,000	5,557,104	△ 2,617,104	
光熱水費	2,053,000		2,053,000	4,039,845	△ 1,986,845	
清掃費	215,000		215,000	228,462	△ 13,462	
機械警備費	70,000		70,000	70,077	△ 77	
設備保全費	602,000	0	602,000	426,583	175,417	
空調衛生設備保守	190,000		190,000	227,262	△ 37,262	
消防設備保守	90,000		90,000	87,596	2,404	
電気設備保守	76,000		76,000	75,713	287	
害虫駆除清掃保守	36,000		36,000	36,012	△ 12	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	210,000		210,000	0	210,000	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	792,137	△ 792,137	
修繕費	300,000		300,000	1,561,010	△ 1,261,010	
公租公課	1,260,000	0	1,260,000	0	1,260,000	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	1,260,000		1,260,000		1,260,000	
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
支出合計	18,231,000	0	18,231,000	21,171,137	△ 2,940,137	
差引	△ 955,143	1,345,290	390,147	△ 2,037,290	2,427,437	

自主事業費 収入	0	0	0	21,300	△ 21,300	
自主事業費 支出	190,000	0	190,000	199,400	△ 9,400	
自主事業 収支	△ 190,000	0	△ 190,000	△ 178,100	△ 11,900	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	8,400	△ 8,400	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	△ 8,400	8,400	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和4年度「横浜市不老町地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	41,432,273		41,432,273	40,417,273	1,015,000	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			△ 1,015,000	24,000	△ 1,039,000	
雑入	0	0	0	2,300	△ 2,300	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0	2,300	△ 2,300	
その他	△ 1,015,000		△ 1,015,000		△ 1,015,000	利用料金の活用
収入合計	46,373,273	0	46,373,273	46,399,573	△ 26,300	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	41,618,000	0	41,618,000	40,234,891	1,383,109	
本俸	23,222,000		23,222,000	23,095,817	126,183	
社会保険料	5,474,000		5,474,000	5,483,983	△ 9,983	
手当計	12,772,000		12,772,000	10,824,079	1,947,921	
健康診断費	72,000		72,000	45,700	26,300	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0		0	692,312	△ 692,312	
その他	78,000		78,000	93,000	△ 15,000	
事務費	1,372,000	0	1,372,000	1,035,547	336,453	
旅費	8,000		8,000	3,028	4,972	
消耗品費	281,000		281,000	161,566	119,434	
会議賄い費	0		0	4,493	△ 4,493	
印刷製本費	0		0	0	0	
通信費	500,000		500,000	376,701	123,299	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	150,000		150,000	0	150,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	18,000		18,000	20,401	△ 2,401	
職員等研修費	20,000		20,000	49,028	△ 29,028	
振込手数料	12,000		12,000	220	11,780	
リース料	63,000		63,000		63,000	
手数料	0		0	110,220	△ 110,220	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	320,000		320,000	309,890	10,110	
事業費	654,000	0	654,000	545,282	108,718	
協力医	200,000		200,000	231,000	△ 31,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	50,000		50,000	43,693	6,307	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	148,015	5,985	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	250,000		250,000	122,574	127,426	
その他	0		0	0	0	
管理費	967,000	0	967,000	1,477,192	△ 510,192	
光熱水費	620,000		620,000	1,073,882	△ 453,882	
清掃費	57,000		57,000	60,728	△ 3,728	
機械警備費	19,000		19,000	18,627	373	
設備保全費	271,000	0	271,000	323,955	△ 52,955	
空調衛生設備保守	51,000		51,000	60,410	△ 9,410	
消防設備保守	24,000		24,000	23,284	716	
電気設備保守	20,000		20,000	20,125	△ 125	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	9,572	428	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	166,000		166,000	210,564	△ 44,564	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
修繕費	250,000		250,000	126,000	124,000	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
支出合計	44,861,000	0	44,861,000	43,418,912	1,442,088	
差引	1,512,273	0	1,512,273	2,980,661	△ 1,468,388	

自主事業費 収入	0	0	0	24,000	△ 24,000	
自主事業費 支出	0	0	0	314,282	△ 314,282	
自主事業 収支	0	0	0	△ 290,282	290,282	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和4年度 横浜市不老町地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:不老町地域ケアプラザ

年4月1日～ 年3月31日

(単位:千円)

科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入															
介護保険収入	13,300	15,483	-2,183	10,591	13,403	-2,812	9,434	10,902	-1,468	88,022	93,191	-5,169	3,899	4,466	-567
その他	0	0	0	0	0	0	86	360	-274	5,372	9,289	-3,917	0	0	0
事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受託収入	0	0	0	0	0	0	86	240	-154	0	0	0	0	0	0
受取利息配当金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	87	87	0	0	0	0
受入研修費収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62	35	27	0	0	0
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	93	2,858	-2,765	0	0	0
その他事業収入	0	0	0	0	0	0	0	120	-120	2,380	4,131	-1,751	0	0	0
積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,750	2,178	572	0	0	0
収入合計(A)	13,300	15,483	-2,183	10,591	13,403	-2,812	9,520	11,262	-1,742	93,394	102,480	-9,086	3,899	4,466	-567
支出															
人件費	0	0	0	0	0	0	15,683	16,137	-454	60,862	67,787	-6,925	0	0	0
事務費	0	0	0	0	0	0	1,021	883	138	10,656	6,455	4,201	0	0	0
事業費	0	0	0	0	0	0	100	126	-26	9,120	8,313	807	0	0	0
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,175	12,113	-5,938	0	0	0
その他	9,942	12,002	-2,060	8,149	10,733	-2,584	132	0	132	4,065	8,630	-4,565	0	0	0
利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	-4	0	0	0
消費税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,210	4,602	-3,392	0	0	0
介護予防プラン委託料	9,942	12,002	-2,060	8,149	10,733	-2,584	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	132	0	132	2,855	119	2,736	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,905	-3,905	0	0	0
支出合計(B)	9,942	12,002	-2,060	8,149	10,733	-2,584	16,936	17,146	-210	90,878	103,298	-12,420	0	0	0
収支(A)-(B)	3,358	3,481	-123	2,442	2,670	-228	-7,416	-5,884	-1,532	2,516	-818	3,334	3,899	4,466	-567

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和4年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	あったかサロン	平成29年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	「全世代まるごと支援」を掲げ地域の皆さんが気軽に集うことのできるフリースペースとして開催。職種・部門を問わず連携し、事業実施できる場として活用する。	5：地域		・毎月第4木曜日13:30～15:00(変動あり) ・無料(フリードリンク提供中止)(材料費負担あり) ・多職種連携(生活支援、包括)による講座等の開催 ・多世代、多文化交流、情報提供の機会 ・ボランティア活動機会の提供 ・貸館利用団体の活動発表	11	143
2	子育て支援「あのね」	平成18年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子育て中の親子に交流の場の提供を行う。また、平成25年度より開始された子育て相談員による子育て相談も行う。子育て情報の提供や、子育てに関する講座等の開催も実施し、子育て中の支援を行っていく。	3：養育者及び乳幼児		・毎月第1、2、4、5月曜日10:15～11:45、14:00～15:30 ・無料 ・10:00～12:00子育て支援者による子育て相談(祝日を除く) ・おはなし会はオンライン開催含め再開検	39	638
3	ママリフレッシュ	平成23年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	育児中の母親に対して、ヨガを取り入れた運動を通して、心身をほぐし体調を整えていくことを目的とする。また交流・情報交換の場とする。	3：養育者及び乳幼児		・第4金曜日10:30～11:30 ・感染予防対策で定員5組 ・講師によるおやこの触れ合い、ストレッチ、ヨガ ・参加費200円	12	93
4	第4回 不老町ケアプラザまつり	平成30年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	ケアプラザの周知、住民同士の交流、活動発表の機会提供を主な目的とする。貸館利用団体や子ども食堂、ボランティアの協力で開催する。	5：地域		・11/23祝日 ・子ども食堂カレー販売、コーヒーボランティアによるドリップコーヒー販売等検討 ・貸館利用団体による発表と演奏、作品展示 ・ケアプラザの周知、住民同士の交流	1	200
5	ふーさんフードパントリー	令和元年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	子ども食堂の協力で開催し、活動への理解や周知の機会とする。きっかけ作りや交流の場の機会提供を行う。就B事業所と協力し当事者支援を行う。	5：地域		・年度内3回(長期休暇に合わせて) ・無料 ・子ども食堂と共催 ・地域作業所と協力し当事者支援	3	156

■ 事業

- 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業
 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3)
 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)

■ 事業の性質

- 1 : 優先的に取り組みが求められる事業
 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児
 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者
 7 : その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
6	コラボギフフェリ 障害理解・啓発 作品展示	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域における「障害」についての理解・啓発のきっかけ作りを行っていく。こども食堂やフードパントリーで作業所と協働し、当事者支援を行う。ケアプラザ、作業所それぞれの場所を利用し双方に作品展示等の催しを開催す	2:障害児・者		・年2回 ・作業所とケアプラザを利用し、双方に作品展示や活動周知の機会を設ける	1	7
7	いきいきスマイル塾 (介護予防教室等)	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の高齢者が定期的に外出する機会を作り、自らが継続的に介護予防の活動に取り組むことを目的とします。	1:高齢者		・会場:不老町地域ケアプラザ多目的ホール ・介護予防教室 ・年8回 第3水曜日10時~11時 ・地域指導者によるコグニサイズ、浜トレを中心とした体操	8	73
8	今日からはじめるフレイル予防講座 (健康教育・出前講座)	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域高齢者がフレイルについて理解を深め、予防法を学ぶ事が出来るようになること、エリアが広範囲のため、ケアプラザまで来館することが難しい方が多い。多くの方に参加していただくことを目的としています。	1:高齢者		・町内会や地域開催のサロン ・老人会や公園などに出張し、包括職員や講師(栄養士・運動指導士・歯科衛生士など)によるフレイル予防講座の開催 ・年5回程度開催予定→5/27公園体操(雨天中止)・6/10石打サロン(栄養)・9/1ノルディックウォーキング(雨天中止)・9/2寿でい(口腔)・10/14日の出町町内会館(体操)・11/6なでしこ会(口腔)・12/2寿でい(フレイル)	5	72
9	FFY(ふーさんフレイル予防)教室(介護予防教室等)	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	音楽に合わせて、楽しみながらロコモ予防。介護予防への関心を持つきっかけを作ることを目的とします。	1:高齢者		・会場:不老町地域ケアプラザ ・理学療法士による音楽に合わせたズンバ体操(ロコモ予防) ・5/13開催	1	9
10	FFY(ふーさんフレイル予防)教室(介護予防教室等)	令和4年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	健康寿命延伸に向けて、心と体の健康に役立つ講座に楽しみながら参加し、フレイル予防に関心を持っていただくことを目的とします。	1:高齢者		・会場:不老町地域ケアプラザ ・YSCC職員によるフレイル予防講座→講師変更(臼井医師による生活習慣病講話と薬膳栄養士による栄養講座に変更) ・地域交流と共催。あったかサロンで9月開催	1	17

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
11	FFY(ふーさんフレイル予防)教室(健康教育・出前講座)	令和4年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	地域高齢者がフレイルについて理解を深め、ロコモ予防に取り組むこと、ケアプラザまで来館することが難しい方が多い。自宅でも参加していただけることを目的としています。	1:高齢者		・会場:不老町地域ケアプラザ ・中スポーツ協会講師による歩き方・体操講座→内容をコグニサイズに変更 ・ICT活用・ハイブリット型にて開催→オンライン型の講座で開催 ・地域交流と共催。あったかサロンで2月開催→2/24	1	8
12	FFY(ふーさんフレイル予防)教室(介護予防教室等)	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者に多い泌尿器の悩みを共有。骨盤体操を通じロコモ予防に取り組むことを目的におこないます。	1:高齢者		・会場:不老町地域ケアプラザ ・中スポーツ協会講師による骨盤体操 ・10月19日開催	1	8
13	シニアのためのかんたんスマホ教室	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	コロナ禍における、ICT普及拡大の実情の中、今後もICT利用の機会が増えると考え、地域の住民の方や支援者の方が活用できるスキルを習得する目的とします。	5:地域		・会場:不老町地域ケアプラザ ・ICT(スマホ・ZOOMなど)の利用方法の講座 ・年数回開催(集団・個別)6/23・12/16・3/17	3	23
14	不老町地域ケアプラザ出張会	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域ケアプラザが身近な相談窓口としてケアプラザを利用していただけようになることを目的とします。	5:地域		・地域のサロンなどへケアプラザ職員が出向き、ケアプラザや介護保険の制度の説明、見守りキーホルダーの登録会などを不定期に開催します。 →6/19・10/2・10/17開催	3	32
15	衛生害虫対策講座(コロナ感染防止のため今年度中止)	平成28年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	寿地区対象者だけではなく認知症独居高齢者宅でも衛生害虫対策を講じる必要がある相談が増えている。日々対応している事業者自身を守るための対策・知識を学んでいただく。	6:事業者		・会場:不老町地域ケアプラザ ・中区生活衛生課による講義 ・令和5年6月	0	0
16	Happyポップリ&Happyトーク	令和5年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	五感への刺激、対話、手指巧緻性等、多様なアプローチによる介護予防。居場所作りに於ける心身の安定と地域間交流を図り、独居高齢講師への社会参加機会、見守りの場を担保する。	1:高齢者		・5月・9月・12月に10名定員で開催。 ・天然素材の色彩、触感や香り等五感を刺激するポップリ製作による介護予防。 ・他地区間交流の場となり、地域情報共有と会話を楽しむ場の創出。		

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
17	瓦版 発行	令和2年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域活動への後方支援と情報発信。地域住民との関係性を構築し、地域づくりへの基盤作りとなる。地域に向けたCP周知。	1:高齢者		・A4カラー両面印刷を近隣の障害者作業所「百合の樹」へ依頼。 ・毎月300部発行 ・地域活動団体や住民に向け配布。		
18	チャレンジボッチャ 共催→主催に変更 7月予定→コロナで延期→感染予防対策のため中止	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域における「障害」理解の啓発のきっかけづくりを行います。まずはケアプラザと中スポ協働で、パラスポーツの体験を行います。スポーツを通じて、障害の理解へ繋げていきます。	5:地域		・年1回(7月末の夏休み期間予定) ・中スポと協働し、ボッチャ体験会を実施。	0	0
19	合同イベント(仮) →第1回埋地ミニ夏まつり 7/9実施	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	横浜武道館・横浜エクセレンス(バスケットチーム)・ケアプラザの周知機会、情報提供の機会創出。地域住民へのスポーツの普及推進。地域資源としての連携、協働体制の構築。	5:地域		・夏休み期間、秋ごろ ・武道館とケアプラザの外スペースで開催予定。エクセレンスのブースを設ける。 ・三者共催 ・地域の方が自由に参加できるイベント	1	350
20	介護者のつどい	平成25年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者虐待を未然に防ぐため介護者の負担軽減を図るため養護者のストレス軽減や適切な介護の知識が得られる場をつくる目的で開催する。	1:高齢者		会場:不老町地域ケアプラザ(年4回開催) ・介護者同士で悩みを共有しストレス軽減や気分転換、介護経験者からのアドバイスが受けられる	4	11
21	権利擁護講座		4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	法律の専門家と連携し成年後見制度等の講座を通じ、地域住民へ自身の終活を考えるきっかけ作りや高齢者虐待防止の啓発の機会を目的とする。	5:地域		会場:不老町地域ケアプラザ ・法律の専門家による遺言や後見等の講座・相談会の実施	5	65
22	親子で楽しむおはなし会 →5月は担い手体調不良で中止	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子で絵本に触れ合う機会を提供するし、情報交換やお友達作りの機会を創出する。「あのね」参加できない方への案内)ケアプラザへの来館機会を作る。子育て関連の情報提供。	4:子ども・青少年		・団体ボランティアの活動機会。 ・年4回 5/20・8/19・10/21・12/16午前 ・事前申込み制 無料	3	8

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）		■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
23	聞こえ・補聴器勉強会	令和年度	4：共催（1と2）	1：優先的に取り組み	ケアプラザエリア内の地域住民、ケアマネジャー対象に難聴や補聴器についての講座を行い生活の質向上の支援を行う。また講座を通してサロンの参加者を増やしケアプラザの周知を目的とする。	7：その他		日時：10月27日 ・会場：不老町地域ケアプラザ ・事業者による講義・相談会	1	10
24	ほほえみがえし 発行回数記載 配布数計上記載なし	平成29年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	ケアプラザの周知、情報発信を主な目的として広報誌を発行、配架する。各部署からのピックを掲載。事業案内も行う。	5：地域		・年6回 奇数月発行 ・広報 ・地福計画のPR企画に不随する事業として実施	6	0
25	キャラバンメイト連絡会	令和1年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	地域のキャラバンメイトと連携し、地域で認知症サポーター養成講座を実施することで認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指す。	5：地域		・隔月でキャラバンメイト連絡会を開催し講座の企画、情報共有をおこなう。	5	28
26	子育て支援 あのね内 「おやこで楽しく食育講座」	令和4年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	～「美味しく！楽しく！健康に！」手軽な調理で1日3食～をテーマに、ヘルスマイトと区健康づくり係の栄養士による講話、レシピ紹介を行う。 野菜を美味しく食べるコツを学んでもらう機会とする。また気軽に質疑応答できる時間を設け、育児に関する不安解消や負担軽減に繋げる。	3：養育者及び乳幼児		日時：11/7(月)14:00～15:00 会場：多目的ホール 主催：中区食生活等改善推進委員会 共催：不老町地域ケアプラザ、中区福祉保健課 内容：栄養、こどもの食事、野菜を使ったレシピ紹介、リーフレット配布、アンケート実施、質疑応答	1	6
27	出張のんびりんこ 親子であそぼう 子育てサロンあのね特別バージョンⅡ	令和3年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域資源である横浜武道館とケアプラザの周知を主な目的とする。のんびりんこ利用者でもケアプラザをしたことがない方にアプローチする。見学ツアーとプログラムを抱き合わせ、情報提供や交流の場を創出。	3：養育者及び乳幼児		・5/30(月)14:00～15:30 ・会場：不老町地域ケアプラザ・横浜武道館 ・横浜武道館見学ツアー、子育て支援者によるプログラム ・各施設からの情報提供	1	13

■ 事業 1 : 地域活動交流事業 2 : 地域包括支援センター運営事業 3 : 生活支援体制整備事業 4 : 共催 (1と2) 5 : 共催 (1と3) 6 : 共催 (2と3) 7 : 共催 (1と2と3)	■ 事業の性質 1 : 優先的に取り組みが求められる事業 2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1 : 高齢者 2 : 障害児・者 3 : 養育者及び乳幼児 4 : 子ども・青少年 5 : 地域 6 : 事業者 7 : その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
28	ボランティア交流会	令和4年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	中区で活動しているボランティア団体のモチベーション向上と地域の支援者(サロンの担い手)とを結びつけることを目的に開催	5:地域		・令和5年2月14日 ・不老町地域ケアプラザ多目的ホール他開催 ・各団体による発表&参加者同士の意見交換会(包括レベル地域ケア会議)	1	37
29	認知症サポーター養成講座	令和3年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	認知症についての正しい知識、対応方法などを地域の方に身に付けていただくことで、認知症になっても住み慣れたまちで暮らしていける地域をつくることを目的として、認知症サポーター養成講座を実施します	5:地域		地域の集まりや、企業での認知症サポーター養成講座を開催。	4	71
31	減災講座	令和4年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	災害に関する基礎知識、有事の対応について地域の担い手対象に講座をおこなうことで、減災に対する知識等を地域に広めていくことを目的として開催。	5:地域		神奈川県看護協会による災害の基礎知識、日頃からの備えなどについての講座。	1	8
32	特殊詐欺防止普及啓発	令和3年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	高齢者が特殊詐欺の被害を受け、財産・権利を奪われることのないよう警察や消費生活推進員と協同していく。	5:地域		警察署、消費生活推進員による講話を不老町CP内サロンや地域のサロンで開催。	1	17
33	エンディングノート書き方講座	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	エンディングノート作成を通して、今後のご自身のことについて考えていただき、意思表示ができなくなっても、その方の望む最期を迎えられる支援を目的とする。	5:地域		10/2行政書士によるエンディングノートの書き案内(地域のサロンにて実施)	1	8
34	中区社福士会共催事業 連続終活講座 「転ばぬ先の終活～元気なうちに備えましょうね～」	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	様々なテーマで講座を行ない、広い範囲での終活について考えていただくきっかけとする。	5:地域		7月～12月、6回にわたりそれぞれのテーマで講座を実施。 不老町CPIはACPIについての講座を担当。 10/13開催	1	17